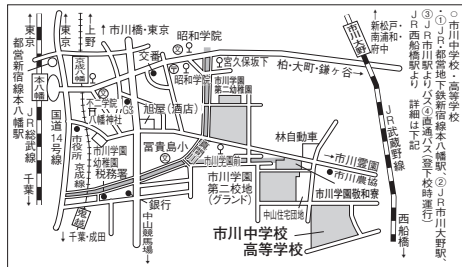


市川高等学校

〒272-0816 千葉県市川市本北方2-38-1 TEL047-339-2681(代) 学校長 及川 秀二 (URL) <https://www.ichigaku.ac.jp/>



●バス ①市川営業所行き・医療センター入口行き・動植物園行きで約11分 ②姫宮団地経由本八幡駅行きで約11分 ③市川学園行きで約21分 ④市川学園行きで約15分 ※バス停「市川学園」より徒歩2分

沿革 昭和12年(1937)4月15日市川中学校として開校。同22年(1947)新制市川中学校、同23年(1948)市川高等学校を設置。諸施設の整備、拡充をし、現在に至っています。また、2003年度より新校舎に移転し、中学校が共学となり、2006年度より高校も共学となりました。

校風・教育方針

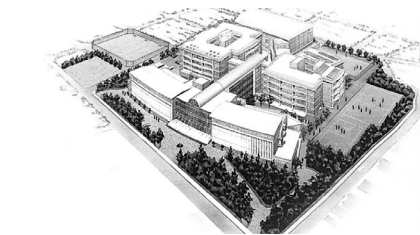
個性の尊重と自主自立を教育方針としています。これを明確に打ち出すべく、3本の柱を立て、生徒一人ひとりの個性を見つめ育て、生徒が自分で自分を教育していく喜びと出会うよう指導していきます。

『独自無双の人間観』

人間はだれでもたった一度の人生です。似ているようでみんな違います。素晴らしい個性、持ち味があり、異なった可能性を持っているのです。本来人間とは、かけがえのないものだ、という価値観が、教育の基盤になっています。

『よく見れば精神』～一人ひとりをよく見る教育

「よく見ればなづな花咲く垣根かな(芭蕉)」という句があります。よくよく見れば、雑草のかすかな花にも、他の花と比べることができない独自無双の美しさがあります。生徒一人ひとりに光をあてて、じっくりと「よく見る」精神が、生徒の潜在している能力を引き出し、開発し、進展していく…。『よく見れば精神』は市川の先生たちの使命であり、教育道の根幹をなすと考えています。



『第三教育』～学ぶ喜びと生きる力を大切に教育

家庭で受ける親からの教育を第一教育、学校で受ける教師による教育を第二の教育とよびます。これら2つの教育のほかに、自分で自身を教育する、いわゆる、第三教育が必要です。この3つの教育は、永い間併存して互いに影響しあって成就していくもの、そして、やがてはこの第三の教育のみが残ることになります。よい家族、よい市民、よい日本人、よい世界人、であるように、市川に学ぶ人々が、その持って生まれたよいところを存分に伸ばすことが、第三教育の根幹になります。第三教育は主として自分の力で、作り上げていくものです。自ら生涯学んでいける力を養っていくことが大切です。主役は生徒本人、これが市川が掲げる「自分で自分を教育する」第三教育なのです。

カリキュラムの特色

生徒の自発的な活動を推進していきます。課外活動は、受験勉強という枠組みを超えた学びであり、自らの興味関心をさらに引き出し、能動的な学びを進め、将来の進路選択や教養を深めることに役立ちます。活動を進める際、基礎学力・教養が必要ですが、5教科授業で学ぶ知識に加え、芸術・体育・プログラミング等の知識が土台となります。根拠を持って自分の意見を述べ議論する力、論理的な思考力、多面的に物事を見る力、相手を説得する力を付ける必要があります。国語で学ぶ読解力と数学の設問要求を読みとる力、理科のレポート作成や社会の小論文作成、英語のスピーチ発表と技術の作品発表などの学習は、教科を越えてつながっています。主役である生徒自身が、各教科の授業の目的を理解して、自分の興味関心あ

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



3学期制

登校時刻 中 8:10 高 8:20

昼食 弁当持参・売店

土曜日 授業及び講座

る活動や将来の進路につなげていくことが重要です。

①SSH(スーパーサイエンスハイスクール) 高校2年生生理選択者必修で行う探究的・課題研究カリキュラムです。高1で物理・化学・生物の3科目を実験・観察を通じて学習、高2より研究テーマを決め探究活動に取り組みます。海外校との連携など世界で通用する成果を目指しています。

②市川アカデメイア 教養教育の一環をなす対話型セミナーです。西洋・東洋の人文・社会科学の古典をテキストとし、自由な対話の構築によって古典への理解と教養を深め、主体的・協調性に基づくコミュニケーション能力を磨きます。他者を理解・尊重し、自己の認識と追究に努め、高い倫理観と冷静な判断力を有した品格・教養のあるリーダーの育成を趣旨としています。中学の授業でも哲学対話を実施しています。

③リベラルアーツゼミ 高校2年生文系選択者が主体的に学ぶ少人数授業です。英語・社会・芸術

分野の12講座があり、各自が調べた成果の発表や議論を通して思考力・判断力・表現力を鍛えます。

④国際教育プログラム 海外研修として、Boston & Amherst(アメリカ)、Cambridge, Eton College(イギリス)、New Zealand、中3は台湾修学旅行を実施しています。また私立高校合同による連携プログラムDouble Helixにおいて、芸術・言語・医療・歴史の各分野に関して、イギリスの第一線で活躍する講師とオンラインで学びました。さらに神田外語大学との高大連携プログラムとして「グローバルイシュー探究講座」を企画。国際社会における地球規模の課題を構想的に理解して、英語による研究発表を行うことを国際教育プログラムのゴールとしています。

⑤土曜講座 外部から、大学教授・研究者・芸術家・作家・企業の専門家等を招いて行われています。学術的なものを中心としながらも広く多彩な内容で、その形態もテーマに沿って、講義・ディスカッション・体験学習等、多岐にわたります。

データファイル

■2026年度入試日程

中学校 1回に帰国生入試含む

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
1回 280	12/16~1/16	1/20	1/22	1/24
2回 40	1/22~2/3	2/4	2/4	2/5
12月帰国生 若干	11/20~12/4	12/7	12/8	12/10

高等学校 一般に帰国生含む

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
単推30・一般90	12/22~1/13	1/17	1/19	1/21※

※一般の併願者は一部延納可

■2026年度選考方法・入試科目

中学校

1回(一般・帰国生)・2回:4科

12月帰国生:国、算、英I(ライティング、リスニング)、英II(リーディング)

〈配点・時間〉国・算=各100点50分 社・理・英I・英II=各100点40分 〈面接〉なし

高等学校

単願推薦:書類審査、学科試験(国・数・英・理・社)

【出願条件】A:9科38以上 B:9科36以上で、スポーツで活躍した者 C:9科36以上で、科学・芸術・文化で活躍した者

一般:国、数、英、理、社

帰国:国、数、英

〈配点・時間〉国・数・理・社=各100点50分

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

英(リスニングを含む)=100点60分

〈面接〉なし

■指定校推薦枠のある主な大学

早稲田大 慶應義塾大 東京理科大 立教大 国際基督教大 明治大 法政大 青山学院大など

■2025年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
409人	298人	0人	3人	2人	1人	105人

■2025年度入試結果

中学校 男/女 1回に帰国生を含む

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
1回 280	1,722/936	1,677/910	792/395	2.1/2.3
2回 40	319/242	294/215	51/31	5.8/6.9

高等学校 男/女 一般は帰国生入試を含む

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
単願推薦 30	36/34	36/34	25/12	1.4/2.8
一般 90	679/393	675/392	468/249	1.4/1.6

学校説明会 HPで予約申込受付

★中学校 10/25 2/28

★高等学校 10/18 11/29

土曜スクールツアー(中高) 日程等は学校HPにてご確認ください

見学できる行事 HPを確認文化祭 9/20・9/21